

さがみはら介護支援専門員の会 会報

法人化に伴い調整中です。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

臨時連絡先：居宅介護支援事業所コルク TEL・042-707-2333



『ケアマネジャー処遇改善のための要望書を市長へ提出しました』

令和6年3月6日さがみはら介護支援専門員の会代表メンバーにて、本村市長へ「ケアマネジャー処遇改善のための要望書」を提出しました。

今年度の取組みとして実施したケアマネジャーへのアンケート結果を基に取りまとめたものです。

当日は本村市長だけでなく、関係各所より多くの参加のもとケアマネジャーの現状を直接伝えさせていただきました。



タウンニュース ケアマネジメントオンラインにも取り上げられました。

「ケアマネジャー処遇改善のためのアンケート結果報告書」について

制度改正・処遇改善委員会にて、令和5年10月に実施させていただきましたアンケート結果についてご報告いたします。

多くのケアマネジャーよりご回答いただき、ありがとうございました。アンケート結果については資料内の通りです。結果から委員会内で提言としてまとめた資料と共に、相模原市福祉基盤課基盤班、地域包括ケア推進課へ提出を致しました。



相模原市長へ要望書を提出！



副代表から 会員のみな さまへ

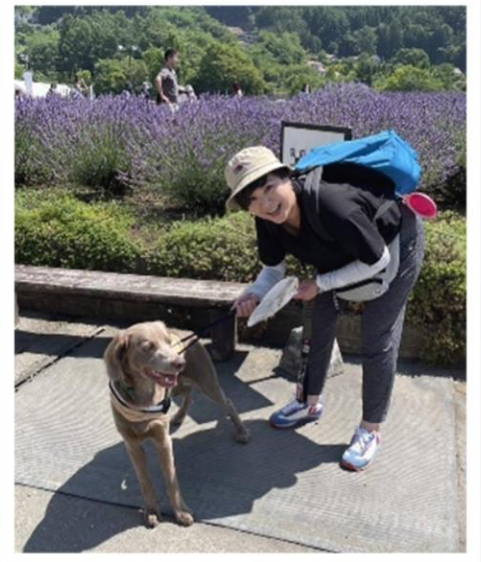
『みんなが輝けるように！

みんなが主役です！』

土田陽子

副代表って何するの？と思って、活動を始めてから早何年経過したでしょう・・・？歴史あるこの会に所属し、活動を通して感じている事は、自分にとってプラスになる事しかないという事。そんな思いを少しでも多くのケアマネジャーさんと共有したいと思って続けています。この会がきっかけとなり神奈川県介護支援専門員協会との関りも深くなり県協会とのつなぎ役としても今後も力を注いでいきます。

副代表として心がけていることは、会員のみなさま、運営委員のみなさまの様々な意見に耳を傾けて、できる限りカタチにしていく事・・・。なんてかっこいい事を言っておりますが、やや導火線が短いので、周囲に苦勞をかけてしまう事があるようです・・・(笑)



『相模原市で働くケアマネジャーが
働きやすくなるよう取り組んで参ります』

竹下陽子



令和5年度よりさがみはら介護支援専門員の会副代表を務めさせていただいております竹下です。

昨年度まで運営委員として医療介護連携推進室の委託事業を受けて研修の企画・運営に力を入れて活動をしていました。

今年度は制度改定・処遇改善委員会のメンバーと共に活動し、市内のケアマネジャー

や相模原市にも協力をいただき、ケアマネの処遇改善に向けて相模原市長へ提言書を提出することができました。ケアマネを取り巻く環境が厳しくなっているなか、非常に大きな一歩となったと考えております。

今後も相模原市で働くケアマネジャーが働きやすくなるよう微力ながら取り組んでまいります。

令和5年度 各委員会活動報告

3

委員会

医療介護連携委員会 (◎泉田・高橋・横山/事務局担当：黒沢・土田・竹下・寺田)

医療介護連携委員会のメンバーは、さがみはら介護支援専門員の会の代表・副代表・事務局リーダーと運営委員の3名で構成し、相模原市医師会と連携して研修を開催しています。令和5年度の活動は昨年6月からスタートし、令和6年3月まで全11回の開催となりました。

アンケート結果を参考に、新たな分野を含めた内容で組み立てを行っています。会員の皆様からも、ご希望やご意見をいただきながら進めていけたらと思います。

来年度も、皆様の参加を、委員一同お待ちしております。

- 連携調整会議・意見交換会（相模原市医師会会議室およびオンライン）...年3回
- 令和6年2月22日の医療・介護連携研修会の企画立案および当日運営に協力
- 相模原市介護支援専門員研修会実施にあたり、研修計画提案や講師調整実施（オンライン開催で、合計11回の現任研修会を実施）

ケアマネ業務支援・研修委員会 (◎高下・鶴澤・内山・山本・黒沼・

事務局担当：川崎)

ケアマネ業務支援・研修委員会は、今年度2回の研修を実施しました。研修は今まで研修委員会が行っていたので、この委員会が中心になって行うのが初めてでした。メンバーで話し合いを繰り返しながら企画運営を行いました。

研修もZoomと対面で実施し会員の皆様へ参加をして頂く事ができました。特に対面研修はコロナの影響で出来ていなかったのが、久しぶりに会って行う研修が出来ました。今後も会員の皆様に参加して頂けるようにメンバー全員で頑張っていきます。

- ①Zoom研修開催 令和5年10月 49名参加
「今の自分を否定しない」
～こうじゃなきゃダメという観念を捨てて
本来の力を発揮できる自分に気づく～
(右側が研修時の写真)

- ②対面研修開催 令和6年3月 19名参加
「ショートステイ相談員と
ケアマネジャーの交流会」



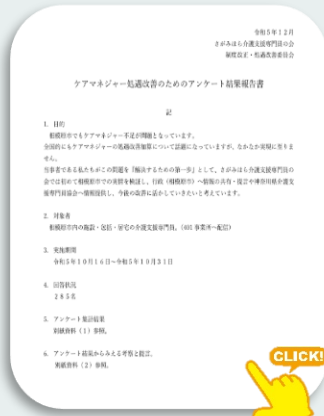
制度改正・処遇改善委員会 (◎樋山・日高・田中・伊東・柳下)

事務局担当：武田・竹下

この委員会は、令和5年度に新たに発足した委員会です。

令和5年度の活動としては、相模原市のケアマネジャーの方たちに、ケアマネの処遇改善に関するアンケート調査を実施、結果を行政へ提出し、さらに私たちの思いを提言として、相模原市長に要望書という形で渡すことが出来ました。

来年度は、このアンケート結果を無駄にしないように、ケアマネの見えない部分の業務についての洗い出しや、具体的な対応策等、会員からの意見なども参考に、考えていけたらと思っています。(案) よろしくお願ひいたします。



情報発信委員会 (◎加藤・松下・植田 事務局担当：寺田・内藤)

昨年度までは広報委員会として活動していた当委員会ですが、会報の発行のみではなく、ホームページやブログの更新、LINEの活用など会員の皆様へ幅広い情報を発信するべく本年度より「情報発信委員会」として再スタート致しました。試行錯誤ではありますが、会員の皆さんに有用な情報を引き続き発信して参ります。

※下記の写真、LINE以外はページイメージ図を押すと各ページに飛びますのでご覧ください(*▽*)



※6ブロックでは試行的にLINEにて各種研修案内などを発信しブロック内交流や連携を進めております。

さがみはら介護支援専門員の会事務局

(◎寺田・黒沢・土田・竹下・内藤・武田・川崎・臼井)

会計の管理、各委員会のサポートをさせてもらっています。又、月1回の運営委員会がスムーズに進むように事前の会議なども行っています。

会員の皆さんに「入会していて良かった」と思って頂けるよう、皆さんの力になれるように会の運営に精進していきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

ブロック再編委員会 (臼井) ※次ページにアンケート結果を掲載

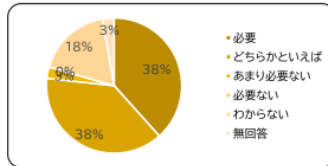
平成22年に政令市になり、3区が誕生して以来懸案であったブロックの再編成に、この1年間をかけて取り組んできました。12月には委員会からの提案に対するアンケートを実施し、お忙しいなか73名の方から回答をいただきました。最終案は総会議案書に載せましたが、多くのコメントもいただいておりますので、これらについても今後の会の運営に活かしていければと思っています。ご協力ありがとうございました。

ブロック再編成に関するアンケート 集計結果

(回答数：73)

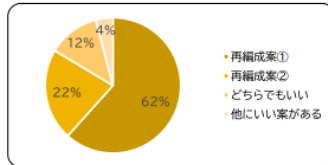
1. あなたは、ブロック編成の見直しを必要だと思いますか？

必要	28
どちらかといえば	28
あまり必要ない	2
必要ない	0
わからない	13
無回答	2



2. 新しいブロック編成は、どの形がいいと思いますか？

再編成案①	45
再編成案②	16
どちらでもいい	9
他にいい案がある	3

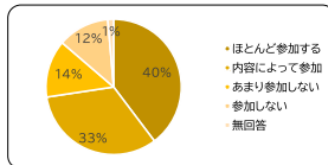


○「他にいい案がある」の方、どんな案ですか？

- ・1ブロックの橋本→3ブロックへ、3ブロックの中央→2ブロックへ。
- ・案①の横山、星が丘、光が丘、上湯、田名は独立。②～⑤はそのまま。人数比例で役員選出。(①②はかなりCM少ないので)
- ・6ブロック(南区)ですが、2ブロックと一緒にする。包括等の交流会で6ブロックの方と会う事が多く、他ブロックと交流を望みたい。3、4、5ブロックは一緒でも良いのでは。

3. あなたはブロック会に参加していますか？

ほとんど参加する	29
内容によって参加	24
あまり参加しない	10
参加しない	9
無回答	1



○「あまり参加しない」「参加しない」の方、理由があれば教えてください。

- ・入職したばかりのため、ブロック会についてよく知らない。
- ・ブロック会の内容に魅力、役立つ情報がない。困難事例検討や資格更新のための研修などをやってほしい。
- ・18時以降の集まりの参加は難しいです。知り合いのケアマネさんも少なく参加しづらいです。ごめんなさい。
- ・リモートだと自宅での参加が忙しい時間にあってしまい忙しいから。
- ・入会間もなく母の介護があるため夜の参加は難しいです。
- ・勤務時間外の会への参加は難しいため。
- ・なかなか時間がとれずすみません。
- ・日程の都合によることが多いです。
- ・日程調整が難しい。
- ・まだ手のかかる子供がいるので、夜開催のものになかなか参加できず申し訳ありません。
- ・時間調整が難しい。
- ・遠方のため。
- ・ZOOMだと話しにくい…。
- ・情報が入ってこなかった。(自分がメール登録をしていなかった)
- ・現在ケアマネとして従事していないことと、体力的に夕方～夜の研修がきつくなりました…。
- ・体力的な問題です。申し訳ありません。参加できるようになったら、参加させていただきたいと思います。
- ・なかなか時間が取れないので、今後はなるべく参加したいと思う。
- ・現職の業務の関係で参加できていません。申し訳ありません。
- ・日々多忙な業務の疲れの回復を最優先にしているため。遠方での開催が多いため。
- ・参加したいと思う内容ではない。

4. ブロック編成、ブロック活動について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

- ・会の皆さんがもっともっとブロック会に参加してもらえたらうれしいです。
- ・3区で区切った方が分かりやすい。オンラインでの活動が進んでいるので、大きな支障はないと思う。
- ・役員の方の負担が多い気がします。
- ・ブロック編成の前になぜ会員数が減少したのか(ピーク時の半分近くまで)、検討が必要では。ケアマネジャーの担い手不足を防ぐ、守るための仕組みが必要。(利用者や家族、医療側からの無理難題など)
- ・施設向けの研修を増やしてほしい。遠くケアのやさしい研修をしてほしい。
- ・区ごとにブロック編成されたほうが良いかと思いましたが運営が大変そうですね。いつもあり

がとうございます。感謝しております。

- ・相談援助にたずさわる同じ立場のお仲間と、情報交換のできるとても貴重なブロックの編成とと思っています。これからもよろしくお願いたします。
- ・役員さんがいつも大変かと思っていましたので、再編成されたら少しは楽になるかと思いました。
- ・コロナ前は活発で、他のケアマネさんと会う場となりとても良かった。また以前のように活発な会になると良いです。ご苦労様です。
- ・ブロック会に参加できず、申し訳ございません。
- ・人数が多い方が活動的に盛り上がるのではないかと考えます。
- ・役員の皆様には大変お世話になっております。Web形式や書面での参加もできると良いのかなと思います。
- ・お忙しい中、ご検討いただきありがとうございます。
- ・今年8月に参加したばかりであまり把握できておらず、意見のできるほどの理解ができていません。皆様の無理のない形をお願いいたします。
- ・お疲れ様です。いつもありがとうございます。
- ・広い範囲で数多く集まることは負担なので、総会以外(それも含め)ZOOMで行えば参加しやすい。
- ・負担のないような編成になればよいと思います。
- ・活動について。とても勉強になる内容だと思います。参加する機会は少ないですが楽しみにしています。
- ・オンライン活動ですと、参加しやすく思えます。
- ・編成はした方がよいと思うのですが、ブロック会へ行くとときに遠くなってしまうと参加は難しくなると思います。
- ・「ひとりで悩むケアマネを作らない」というスタート時の思いを大切にしていきたいと思います。私はそこに感動しました。
- ・いつもお世話になっております。
- ・参加して間もないため、特に意見はありません。
- ・旧4町は1人ケアマネ多い。事業所数に対して人数少なく遠方。委員会はハイブリッドが良いかと思えます。
- ・他のブロックの活動など、知る機会があるといいと思います。
- ・人数を平均化する目的の編成は賛成です。来年度は参加できるよう努めたいと思います。
- ・地域事情が異なるため、ブロックの範囲を拡大すると共通の話題を持ちにくくなってしまいますように思います。同じ緑区であっても、旧津久井郡地域と橋本駅周辺とは事情が全く異なるため、同じ価値観を持ち得る旧津久井郡地域のみブロックが作れたらいいと思いますが、役員の担い手不足やブロックバランスのことを考えると①もしくは②への再編は止むべく思いま

す。地域に関する議題が減り、一般的な議題が多くなることへの心配はあります。

- ・ケアマネのメンタルヘルスの場になるとありがたいです。日頃の業務の悩みを聞いてもらいたい人が多くいるような気がします。
- ・川崎市の組織率の高さはなぜなのか参考にしても良いのでは？ブロック編成等よりなぜ組織率が低いのか検討してはいかげしょう。会費を払っていてもいなくても参加できる講演会であれば退会を考えます。メリットがありません。
- ・私は車を持っていないので、ブロック会の会場が遠かったり、電車で行くので駅から遠いと参加できなくなってしまうなと思っています。再編成でブロック数が増えるということは一時的に会員数は増えますが、会の存続という点では課題が残ると思います。
- ・現在は①がよい。将来は②に移行する再編が必要です。
- ・ブロック会員が少ないとブロック会が成立しないので、ある程度の人数は必要かと思えます。よろしくお願いたします。



令和5年度 ブロック活動報告

● 1ブロック (相模湖・藤野・津久井・城山・橋本・大沢・田名)

◎内山・臼井・泉田・樋山・黒沢

● 2ブロック (上溝・横山・星が丘・光が丘)

◎内藤・日高・山本・松下

今年度は1, 2ブロック合同で3回ブロック会を開催しました。

- 開催日：令和5年6月26日 19:00～
テーマ：～みんなでケアマネ版BCP（業務継続計画）を作ろう～
開催方法：相模原市民会館にて集合
参加者：20名



よりよいBCP（業務継続計画）を作成するためにみんなで集まり、話し合いました。その後、作成に困っている方の参考にさせていただくために会として[ホームページにBCP参考資料をアップしました。](#)

- 開催日：令和5年12月18日 19:00～
テーマ：「グループスーパービジョン」
～悔いが残っているケースの振り返り～
開催方法：Zoom
参加者：22名



グループスーパービジョン開催による注意点、事例検討ワークシートを事前配布し、司会者の方の心地よい進行のもと、事例提出者の方の長年心の奥に抱えていた事例の振り返りを行いました。参加者全員がバイザーとなり、事例提出者の方が支援した大切な時間を共有し、多くを学びました。

- 開催日：令和6年2月28日 19:00～
テーマ：「みんなで学ぼう！2024介護保険制度改正」
開催方法：Zoom
参加者44名



2ボスこと黒沢代表、日高氏がまったりとわかりやすく、資料を読んだだけでは、わからないことを細やかに2024介護保険制度改正を解説してくださり、情報を共有しました。ケアマネとして制度改正について全てを詳細に知らなくてもよいが、あることを知っておくことは大事なことで、お互いに勉強をしていくことが必要だということ学びました。

困難なケースを相談していける仲間づくり、主任ケアマネ更新研修や業務に役立てることを皆様と一緒に考えていけたらと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

3 ブロック (中央・小山・清新)

◎高橋・武田・土田・川崎

3ブロックは昨年度、2回ブロック活動を行いました。1回目は、昨年の10月に会員外の方を含めた交流を目的として、3ブロック委員の川崎様のお名前をお借りし「スナックのりこ」を開催しました。2回目は、4ブロックと合同で、全会員を対象に地域ケアサポート医の大塚内科医院の大塚先生をお招きし、「スナック龍彦」を開催しました。交流会にて、参加者との親睦を深め、仕事の困難さや悩みの相談、情報の共有を通じ有意義な時間を過ごす事が出来ました。引き続き、繋がりを大切にしていきます。



「スナックのりこ」



「スナック龍彦」

4 ブロック (大野北・大野中)

◎植田・鶴沢・高下

ボランティア



令和5年度のブロック会は2回行いました。

- 第1回 令和5年9月29日(金) 19:00より
対面での親睦会 今後ブロック会で取り上げてほしいテーマの相談
- 第2回 令和6年2月20日(火) 19:00より
皆さんからの希望で有償ボランティアについての情報収集を対面で3ブロックと合同で行いました。次年度も皆様の希望に添うようにブロック会で親睦を深めたいと思います。

5 ブロック (大野南・東林)

◎田中・黒沼・横山・竹下

今年度は2回ブロック会を開催致しました。新型コロナウイルス感染症の5類移行後でしたが、感染対策を行いながら対面形式で開催することができました。

第1回は『身近な地域資源について』情報交換会、第2回は相模大野南居宅介護支援センターの行政書士・横山氏による講義、質疑応答を行いました。来年度もできる限り対面形式で開催することで横の繋がりを深めていけたらと思います。



6ブロック (麻溝・相模台・相武台・新磯)

◎伊東・柳下・寺田・加藤

6ブロックでは4回のブロック会を開催しました。そして、ブロック内の連絡体制の整備として、従来のFAX連絡をLINEの活用による情報提供方式に変更しました。この変更により、ブロック会員間の連絡がリアルタイムで行え双方向で交流できるようになりました。他のブロックでもぜひ試してみてくださいと思っています。

◎第1回 「運営指導を終えて」

内容：運営指導を受けた居宅のケアマネから、最新の情報を提供していただき、みんなで共有

◎第2回 「①契約書 ②重要事項説明書 ③個人情報使用同意書 の確認」

内容：第1回目でも共有した内容をもとに上記3点も見直し、皆で確認

◎第3回 「令和6年度の法改正について」

内容：それぞれわからないところを参加者で質疑応答、情報共有。分からなかった部分は、後日確認し皆でLINEにて共有。

◎第4回 「自身の身体のメンテナンスをしよう」

講師：アップライフ小田急相模原 PT上原様



医療・介護連携研修会

R6.2.22 オンライン会議システムZoomにて「『人生会議』それぞれの職種がその時に出来る事、役割を考える」と題して、医師、看護師、訪問介護員、ケアマネジャー、地域包括職員、後見受任者、約70名が一堂に会し、相模原市医師会理事である水上先生の基調講演の後に、10のグループに分かれそれぞれの立場から人生会議（ACP）について語り合いました。

参加された医師から『医師にはなかなか話し辛いので、本人に寄り添っている訪問介護員や訪問看護師に本音をポロッと話す方が多いんですよ～』といった話や後見受任者からは『後見受任者は医療同意をすることができないため、悩むことが度々あります』といった話を伺うことができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

参加された皆様、お疲れさまでした。
ありがとうございました 🍀

